

平成 2 1 年 9 月 3 0 日
東日本高速道路株式会社

ETC 速度抑制強化対策の実施状況について

平成 2 1 年 3 月 1 6 日より 4 月 2 0 日まで東日本管内で順次展開してきました、E T C 速度抑制強化対策の状況についてお知らせいたします。

E T C レーンの通過時速 4 0 km 以上の割合が約 6 0 % 削減
開閉バーへの接触発生率が約 2 0 % 削減

開閉バーが開くまでの時間（タイミング）を 0 . 5 ~ 1 . 0 秒遅らせます。

（ 1 ）速度変化状況

速度の変化状況は、本対策実施前と比較しますと、E T C レーン通過時速 4 0 km 以上の割合が低減し、対策効果が見られます。

E T C レーンの通過時速 4 0 km 以上の割合が、約 6 0 % 削減されました。

（ 2 ）開閉バーへの接触状況

開閉バーへの接触状況は、本対策実施前と比較しますと、接触発生率が低減し、対策効果が見られます。

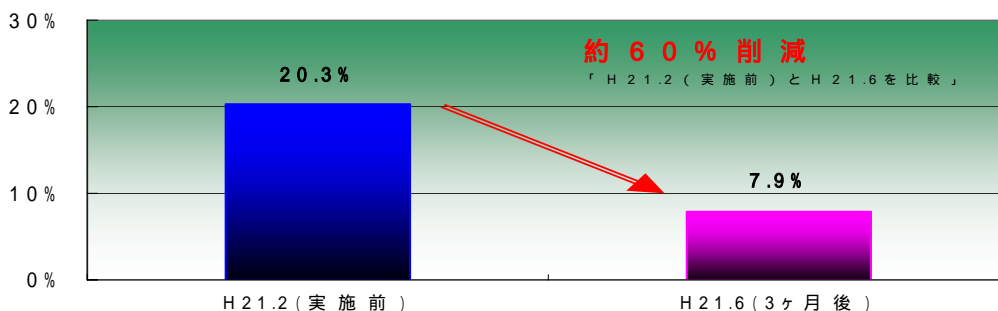
開閉バーへの接触発生率は約 2 0 % 削減されました。

（ 3 ）渋滞発生状況

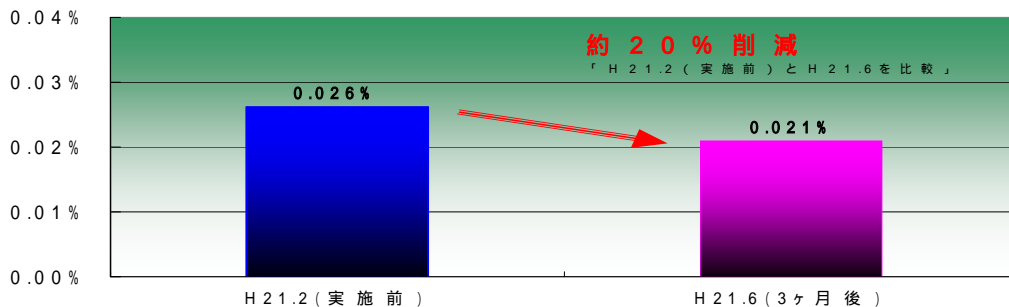
今対策に起因する料金所渋滞は、平成 2 1 年 9 月 2 9 日現在発生しておりません。

（ 4 ）対策効果の推移

ETC レーン 通 過 時 速 (4 0 km / hr 以 上) の 割 合 推 移



ETC 開 閉 バ ー へ の 接 触 発 生 率 の 推 移



実施前 : 平成 2 1 年 2 月 1 日 ~ 平成 2 1 年 2 月 2 8 日
3 ヶ 月 後 : 平成 2 1 年 6 月 1 日 ~ 平成 2 1 年 6 月 3 0 日